

令和7年度 自己評価・外部評価 評価表

事業所名 かざぐるま定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できて いる	るほ ぼで きてい	でき が 多 い ない	な全 く で きてい		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			サービス提供時間の変動が多い場合、ケアマネへの報告が遅れる場合もある。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			心身の状況変化を逐次伝えることで、ケアプランに反映してもらうよう調整を促す。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			サービス担当者会議や面談の場に積極的に参加して共有を図る。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			緊急的な通院や、車による移動が必要な場合、自社の自費サービスを活用している。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			通院時や入退院時など、可能な限り同行して、情報の共有が図れるよう努めている。	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				自社でのフォローに加え、他法人の訪問介護事業所を導入して、包括的なサービスを提供している。	